



幼保小連携 接続カリキュラム



平成31年4月

大村市

こども政策課

学校教育課



も く じ

大村市幼保小連携 基本構想	1
(1) ねらい.....	1
(2) 連携教育に取り組む理由.....	1
(3) 推進に関する基本的な考え方.....	1
(4) 期待される効果.....	2
(5) 幼保小連携の留意点.....	2
(6) 幼保小連携の具体的な実践方法.....	3
(7) 今後の取組.....	3
(8) 大村市幼保小連携連絡協議会年間計画（案）.....	4
幼保小連携接続カリキュラム	5
知識及び技能の基礎→知識及び技能.....	6
思考力、判断力、表現力等の基礎→思考力、判断力、表現力等.....	7
学びに向かう力、人間性等→学びに向かう力、人間性等.....	8
幼稚園・保育園・こども園 資料	9
資料1 大村市立こども園 5歳児の1日の流れ（例）.....	10
資料2 公立園の保育や環境構成の工夫（例）.....	11
資料3 実践事例1 おまつり遊び.....	13
実践事例2 砂遊び.....	14
資料4 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿.....	15
小学校 資料	17
資料5 小学校入学後 第1週目時間割.....	18
資料6 小学校時間割（例）.....	19
資料7 小学校生活を知ろう.....	20
交流活動事例	21
資料8 交流事例1 あたらしい1年生をしょうたいしょう.....	22
関係資料	23
(1) 関係法令の幼保小連携関連事項の抜粋.....	24
(2) その他参考資料.....	26
(3) 幼保小連携接続カリキュラム実務者会構成員名簿.....	27

大村市幼保小連携 基本構想

(1) ねらい

幼児期の教育及び保育において、育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育との円滑な接続を図ることにより、子どもの健やかな育ちと学びの連続性の確保を目指します。

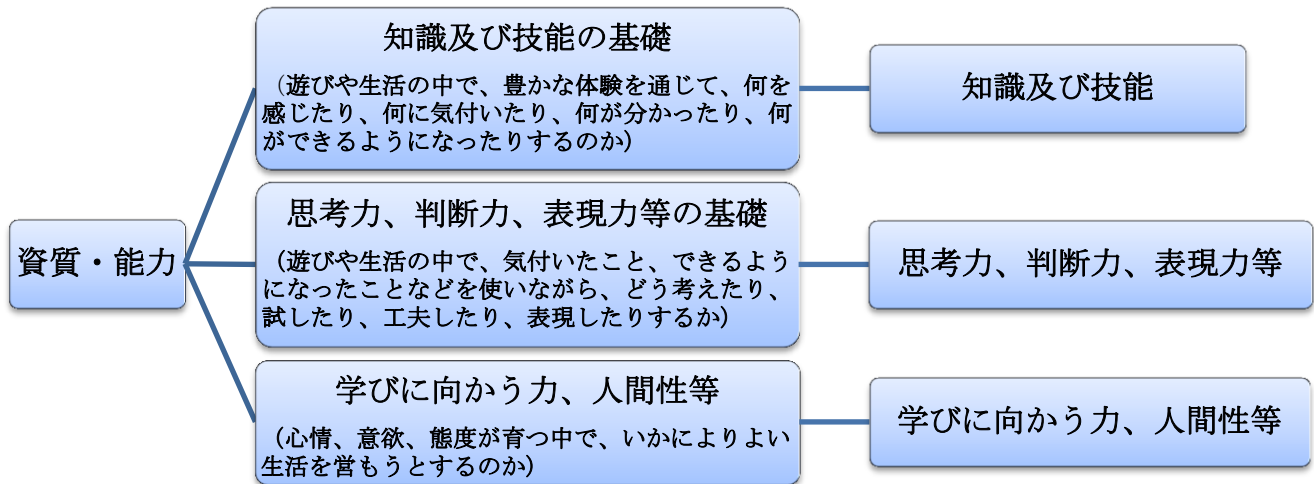
(2) 連携教育に取り組む理由

近年、少子化の進行、核家族の増加など、地域社会の変容を背景に、子どもの育ちが大きく変化しており、基本的な生活習慣の欠如、コミュニケーション能力の低下、自制心や規範意識の希薄化などが生じています。また、以前から小学校就学時に学校生活にうまく適応できない、いわゆる「小1プロブレム」が課題となっていますが、適応できない子どもだけではなく、全ての子どもの「学びの接続」や「発達の接続」を目的とした連携が必要となってきています。

(3) 推進に関する基本的な考え方

乳児からの発達の連続性や「資質・能力」を中心とする考え方によって、幼児期の教育及び保育と小学校以上（15歳まで）の教育の円滑な接続を図り、生活や学びに必要な力を育みます。

乳幼児期 小学校 中学校 高校



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (10項目)



(4) 期待される効果

幼児期の教育及び保育と小学校教育の円滑な接続を図ることにより、下記のような効果が期待されます。

① 就学児の小学校入学への期待

- ・ 小学校を見学することで、入学後の生活がわかり、不安が軽減されます。
- ・ 幼稚園、保育所（園）、認定こども園及び小学校（以下「幼保小」という。）の子ども同士の交流を通して、優しく接してもらい、受け止めてもらう体験ができ、小学校へ期待がもてるようになります。

② 就学児の入学後の学びの意欲

- ・ 小学校の学習の様子を見学することで、学びに対する興味につながります。

③ 保護者の小学校入学への期待

- ・ 情報紙「もうすぐ1年生」を通して小学校生活について知ることができ、見通しをもって子どもと向き合うことができます。

④ 教職員の意識改革

- ・ 幼保小の教職員が子どもの学びの連続性について共通認識をもつことができます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼保小の教職員が共に子どもの成長を共有することを通して、子どもの発達を長期的な視点でとらえ、互いの教育及び保育内容や指導方法の違いや共通点について、理解を深めていくことができます。

- ・ 幼稚園、保育所（園）及び認定こども園（以下、「幼保」という）の職員が子どもの就学以降を見通した教育及び保育の取組みができます。

連携を通して、「協同的な学び」を取り入れ、興味や関心が学びにつながるような指導を工夫することができます。

- ・ 小学校教諭がスタートカリキュラムの作成や実施を通し、幼保の教育及び保育を踏まえた指導ができます。

⑤ 小1プロブレムの解消

- ・ 幼保小の教職員の情報交換や研修会、子ども同士の交流活動等を通し、幼保から小学校への移行が円滑になり、子どもの生活の変化による戸惑いが軽減されます。

(5) 幼保小連携の留意点

① 小学校教育の先取りをせず、幼児期にふさわしい教育・保育を行う。

- ・ 発達や学びは連続しており、幼保から小学校への移行を円滑にする必要があります。しかし、それは、小学校教育の先取りをすることではなく、就学前までの幼児期にふさわしい教育及び保育を行うことが最も肝心なことです。つまり、子どもが遊び、生活が充実し、発展することを援助していくことです。

② 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有する。

- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は到達すべき目標ではないことや、

個別に取り出されて指導されるものではないことに十分留意する必要があります。

また、一人一人の発達の特性に応じて、これらの姿が育っていくものであり、全ての子どもに同じようにみられるものではないことに留意する必要があります。

さらに、小学校の教師と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに子どもの姿を共有するなど、幼保の教育及び保育と小学校教育の円滑な接続を図ることが大切です。

- ③ 幼保小相互のねらい、方法などを踏まえ、継続的かつ計画的に取り組む。
 - ・ 幼保小連携の実施に当たっては、年間計画を作成したり、事前の打合せをしたり、交流活動後に互いの意見や情報を十分に交換したりするなど、相互の連携を図りながら取り組むことが大切です。また、幼児期の教育及び保育と小学校教育の円滑な接続のためには、保育参観や授業参観を通じて、教職員同士がお互いの教育内容等について相互に理解できるよう、幼保小が組織的に連携することが大切です。

(6) 幼保小連携の具体的な実践方法（対象：就学児が在籍する教育・保育施設と小学校）

- ① 子どもの交流
 - ・ 子ども同士、幼保小の教職員同士が互いを知り、互いの良さを共有し、滑らかな接続へつなげます。【小学校見学、就学児と児童の交流】
- ② 家庭の情報提供
 - ・ 情報紙「もうすぐ1年生」（学校教育課作成）を配布することで、親子で就学への期待を持ちます。
- ③ 教職員の連携
 - ・ 幼保小の教職員と一緒に研修を受けることで理論的に幼保小連携を学びます。
【合同研修会】
 - ・ 幼保小の教職員が互いに子ども観・指導法などを理解し合います。【情報交換会】
 - ・ 発達や学びの連続性を確保するため、相互の教育内容や指導方法の違いと共通点、幼児や児童の実態について理解を深めることができます。【公開授業・保育】
- ④ 接続カリキュラム作成
 - ・ 就学前の子どもが、円滑に小学校の生活や学習へ対応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校生活や学習で生かされ、つながるように工夫された5歳児のカリキュラムを作成します。【アプローチカリキュラム】
 - ・ 幼児期に育まれた資質・能力を、各教科等の特質に応じた学びにつなげていくために、生活科を中心としたカリキュラムを作成します。【スタートカリキュラム】

(7) 今後の取組

- ・ 大村市幼保小連携連絡協議会（仮称）を設置し、市内の幼保小の関係職員対象の合同研修会の開催により、幼保小連携の推進を図っていきます。

(8)大村市幼保小連携連絡協議会年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①小学校見学	校区内で実施											
②情報紙 「もうすぐ1年生」			年長児保護者 ・幼稚園 ・保育園 ・こども園				年長児保護者 ・幼稚園 ・保育園 ・こども園				年長児保護者 ・幼稚園 ・保育園 ・こども園	
③合同研修会				幼保小連携 研修会								
③情報交換	校区内で実施											
				情報交換								
③公開保育・授業	校区内で実施											
④ 接続 カリキュラム	校区内で実施											



幼保小連携接続カリキュラム

この幼保小連携接続カリキュラム（以下「カリキュラム」という。）は、幼児期の教育及び保育と小学校教育の相互理解を深め、相互を意識しながら、連続性・一貫性をもった構成としました。大村市の幼児期の教育及び保育に携わる職員及び小学校教育に携わる教員等が日々の教育及び保育に生かしてもらうために作成したものです。今後の校区の地域性豊かなカリキュラム作成の参考にしてください。

カリキュラムは、育みたい資質・能力である「知識及び技能（の基礎）」、「思考力、判断力、表現力等（の基礎）」及び「学びに向かう力、人間性等」の3つを視点として、具体的な子どもの姿を記述してあります。

アプローチカリキュラムは、幼保の5歳児の9月から3月までの姿です。スタートカリキュラムは、小学1年生の4月入学から7月までの姿です。

特に、アプローチカリキュラムにおける記述は、到達目標ではなく、その姿の育成に向けた教育及び保育の方向性を示すものです。





【遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かっ
たり、できるようになったりする】

【何を知っているか、何ができるか】

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

- ・手洗い、うがいの習慣が身に付く。
- ・脱いだ服をたたみ、決められた場所にしまう。
- ・ハンカチ、ティッシュをポケットに入れて使う。
- ・身だしなみを整える。
- ・自分の持ち物の整理整頓をする。
- ・朝の準備や帰りの準備を自分で行う。

- ・衣服の着脱や手洗いうがいなど学校での仕方を知る。
- ・ハンカチ、ティッシュ、名札を身に付ける習慣をつける。
- ・ロッカーや机の中のものの置き場所が分かる。
- ・ランドセルの中のものの出し入れが自分でできる。
- ・朝の会や帰りの会で定期的に整理整頓する。

- ・活動後に自主的に手洗い、うがい、着替えができる。
- ・身の回りの始末が決められた時間内に進んでできる。

- ・早寝早起きを意識する。

・小学校の生活リズムへ移行するため、
午睡無し of 生活をする。

- ・早寝早起き朝ごはん、生活のリズムを整える。
- ・決められた時間に元気に登校できる。

- ・給食は時間を意識して一定の時間内に食べる。
- ・自分の食べられる量に調整する。
- ・給食当番等で自分達で配膳する。(当番はエプロン・マスクをつける)
- ・食事のマナー(はしの持ち方、姿勢など)を意識して楽しく食べる。

- ・スタート時は、しっかり食べることを意識する。
- ・給食当番の仕方や配膳の仕方、食べ方に慣れる。

- ・給食は時計を意識して食べる。
- ・時間内に自分の食べられる量を把握し、減らすことができる。
- ・食事のマナーを守って楽しく食べる。

- ・時間内に食べることができる。

- ・活動や生活の流れを知り、見通しをもってトイレに行く。
- ・和式トイレ、男子便器の使い方に慣れる。

- ・スタート時はトイレに行きたくなったら、自分から意思表示できる。

- ・トイレは休み時間に済ませる。(決まった時間にトイレに行く)

- ・体を十分に動かして遊ぶ。

- ・運動や遊びを楽しむ。
- ・運動場の遊具の使い方、ルールを知り、友達と仲良く遊ぶ。

- ・いろいろな運動や遊びに挑戦する。

- ・様々な道具(クレパス、鉛筆、ハサミ、のりなど)の使い方を知る。
- ・用途に合わせて道具を選ぶ。

- ・道具の片付けや整理整頓を身に付ける。

- ・絵具の使い方、塗り方を知る。

- ・遊びや生活の中で、数量や図形に興味関心をもつ。
- ・標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりする。
- ・自らの必要感に基づき、色、数、形など認知面の感覚をもつようになる。
- ・絵本や物語に親しむ。

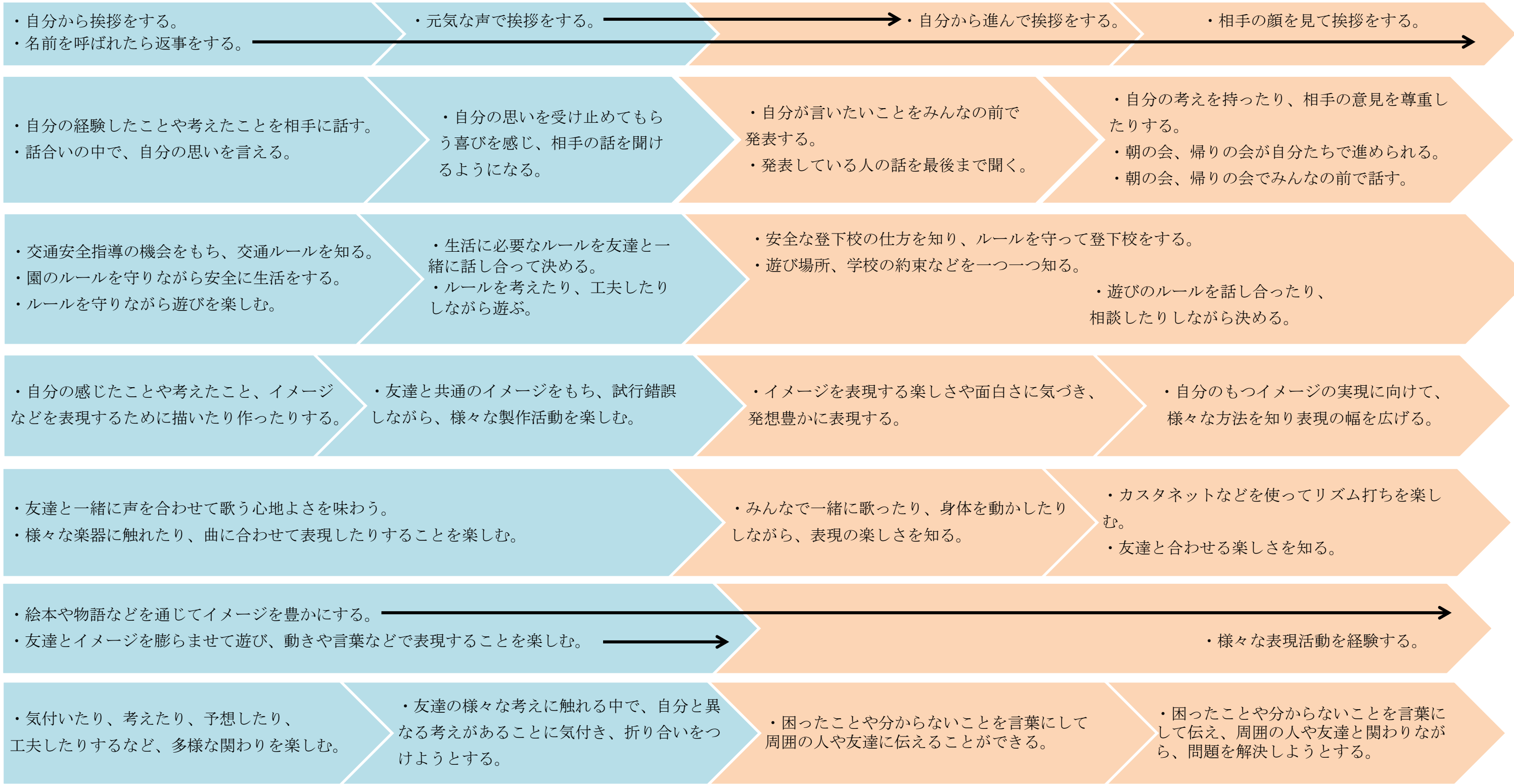
- ・教科書やノートなど学用品の使い方や鉛筆の持ち方などを知る。
- ・鉛筆の正しい持ち方を意識しながら丁寧に文字を書く。
- ・ことば遊びをしながら、楽しく文字に慣れる。
- ・図書室の利用の仕方を学び、本に親しむ。
- ・具体物・半具体物・数図などを使いながら10までの数を用いることができる。

- ・ノートの書き方を知る。
- ・ひらがなの読み書きができる。
- ・10までのたしざんとひきざんの計算ができる。

思考力、判断力、表現力等の基礎  思考力、判断力、表現力等

【遊びや生活の中で、気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする】 【知っていること・できることをどう使うか】

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----





【心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする】

【どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか】

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

- 生活への見通しをもち、活動を楽しみにする。(活動内容を絵や文字にして掲示する)
- 次の日の活動に期待をもち、早く登園したいと感じるようになる。(登園時間を徐々に早める)

- 時間割のある生活に慣れる。
- 学校生活に慣れ、楽しく登校する。

- 次の日の活動に期待をもち時間割を見ながら進んで準備をする。

- 時間を意識して活動する。
- 時計を見て自ら進んで活動しようとする。

- チャイムを意識して行動する。
- 時計や長針の数字等で次の始まりの時間を意識する。

- 授業と休み時間の切替を意識して行動できる。
- 時間割を見て行動する。
- 学習の準備をする。

- 時計の学習を生かして行動する。

- 話し手の方に体を向けて話を聞く。
- 必要な場面に応じて様々な姿勢(椅子、体操座り、立ち姿勢)で話を聞くことに慣れる。

- 話の聞き方を身に付ける。
- 話し手を見る
- 最後まで聞く
- 良い姿勢を保ち、椅子に正しく座る。

- 周りのものにとらわれず、先生の話を集中して聞くことができる。

- 集中して話を聞ける時間が徐々に長くなる。
- 時と場合に応じて、聞く姿勢を整え、人の話を聞くことができる。

- よいことと悪いことが分かる。
- よいことと悪いことを意識して行動する。

- よいことと悪いことの区別ができ、よいと思うことを進んで行う。

- みんなで一緒に使うものを大切にし、きちんと後片付けをする。
- 遊びや生活に必要なものを考え準備しようとする。

- 日常の当番活動を分担し、積極的に取り組む。

- 当番の仕方がわかる。

- 当番や係活動を責任をもって行う。

- 進んで当番や係活動を行う。

- 友達と話し合う中で、友達の意見を受け止め、折り合いをつけながら遊びを進めていく。
- 協同的な遊びを通して、友達と一緒に活動することを楽しむ。
- 友達とのかかわりの中で互いの良さに気づき、認め合う。
- 年下の友達に親しみをもち、優しく接する。
- 共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりして、達成感を味わう。
- 友達の気持ちに共感し、相手の立場に立って行動しようとする。

- クラスの友達に関心をもち、担任が関わったり、自分から話かけたりする等して友達づくりをする。

- 学級全体で友達と協力し、めあてに向かって活動することで集団生活の意識を高める。

- 友達の意見を聞き、折り合いをつけながら、自分達で生活を進めていく。
- 授業や様々な活動を通して、友達との関わりをさらに広げる。

- 季節の変化に関心をもつ。
- 遊びの中に自然物を取り入れたり、調べたりする。
- 身近な動植物への接し方を考え、命あるものとして、大切にしたい気持ちをもつ。

- 季節や動植物などへの興味をもつ。

- 観察や探検を通して、発見したことを自分なりに表現できる。

- 初めてのことに挑戦しようとする。
- 自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながらやり遂げる。

- 新しいことや苦手なことにも挑戦しようとし粘り強く頑張る。



幼稚園・保育園・こども園

資料

「遊び」は「学び」につながる



資料 1

大村市立こども園 5 歳児の 1 日の流れ (例)

時 間	生活の流れ	子どもの姿
~9:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 順次登園する <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶する ・ 朝の準備 (朝のお仕事…掃除、水やり 他) ● 好きな遊びをする ※その時期のカリキュラムに応じた遊び (子どもの興味・関心を捉えながら、保育者の意図を絡ませ、経験させたい遊びを設定する) ● 片付け、排泄、手洗い、うがい、水分補給 ● 保育室に集まる <ul style="list-style-type: none"> ・ 手遊び、歌 ・ 遊びの紹介、話し合い 生活指導 ● みんなでする活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現活動 (絵画等) ・ 製作 (折紙、工作等) ・ 運動遊び 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(所持品の始末)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(シール帳)</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>(朝のお仕事)</p>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(話し合い)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(誕生日へプレゼント作り)</p>  </div> </div>
11:30~	<ul style="list-style-type: none"> ● 給食の準備をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄、手洗い、うがい ・ 当番活動、配膳 ● 給食を食べる ● 片付ける ● 歯磨き 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(当番活動)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(着替え)</p>  </div> </div>
12:45~	<ul style="list-style-type: none"> ● 着替える (長時間児) ● 好きな遊びをする ● 片付ける 	
13:00~	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育室に集まる <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本、紙芝居を見る ● 排泄、手洗い 午睡する (長時間児) 	
14:00~	<ul style="list-style-type: none"> ● 降園する (短時間児) 	
15:00~	<ul style="list-style-type: none"> ● おやつを食べる (長時間児) ● 好きな遊びをする ● 順次降園 	<p>(帰りのお集まり)</p> 

※短時間保育児 (幼稚園)、長時間保育児 (保育園)

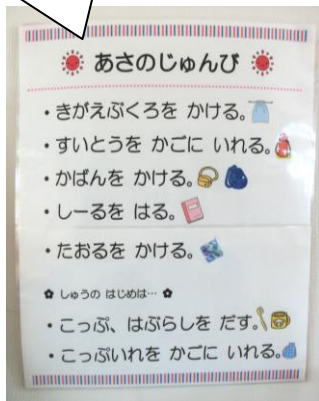
※日によって、活動内容や一日の流れは異なります。

資料2 公立園の保育や環境構成の工夫（例）

【手順等の掲示】

朝の準備やシール貼りなど、表示を見ながら自分で考えてできるように、視覚に訴える掲示物や環境構成を工夫し、自立心を育てる。

朝の準備の手順を文字と絵で表示し、自分でできるようにしておく。



今日の日付や曜日を確認しながらシールを貼れるようにしておく。

今日は何日かな？



【持ち物の表示】

年長前半は、マークなどを用いて自分の場所や持ち物の場所を把握し、後半はひらがなで名前を表示し、名前や文字に触れる機会を増やす。

自分のマーク等を用いた表示



徐々に移行していく



ひらがなで表示

【片付け・整理整頓の表示】

自分の持ちものやみんなで使うものの整理整頓ができるように、文字や写真等で分かりやすく掲示し、規範意識や生活する力を育む。



道具棚の整理整頓

自分の持ち物をいつもきれいに整理できるように、目につくところに掲示しておく。

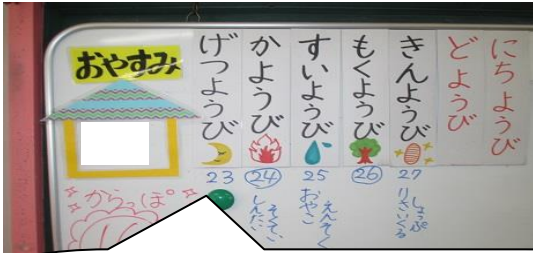
何がどこにあるかわかるように、片付けがしやすいように文字で表示しておく。



共同で使う製作棚の表示

【時間の意識】

一週間の予定や一日の流れなどを、大まかに知らせておくことで、子どもたちが見通しをもって園生活を過ごすように援助し、自主性や積極性を身につける。



週の予定をホワイトボードなどに大まかに書いておくことで、見通しをもって過ごすことができる。

時計にマークをつけたり、片付けの時間を知らせたりすることで時間を意識して行動するようになる。



実際の時間

【自然物のコーナー等】

季節を感じられる自然物や飼育物のコーナーを工夫し、保育室付近に設置することで、子どもの興味関心を引き出す。



季節を感じられる自然物や飼育箱、調べるための図鑑、関連の絵本、虫眼鏡などの道具を準備し、子どもの興味関心をひく環境構成を工夫する。



【仕事・当番活動】

朝の仕事や当番活動など、集団の一員としての役割を担うことで、協力することの大切さに気づき、自信につなげる。



ぼくのはんは、6にんだからあとふたつだね。

【朝の仕事】

- 事前に、子ども達と仕事内容を話し合い、その日の天気や状況に応じて仕事内容を変更。みんなで力をあわせて自分たちの生活に必要な環境を整える。
- 人数割りを見ながら、空いているところを探し、自分にできる仕事を探す。



みんなの役に立つ経験が、自信につながる

給食当番は…

- みんなのために机拭きや牛乳配りをします。
- 給食を保育室に運び、班の人数を数えて牛乳を配布したり、食べる量を聞いて配膳したりする。
- 自己紹介や「いただきます」の挨拶をする。
- 食後は、食器の片付け、掃除をする。

おまつり遊び

5歳児 7月～8月

〈これまでの子ども達の姿〉

絵本や物語に親しむ中で、友達とイメージを共有してごっこ遊びをしたり、絵を描いたりする姿がみられた。また製作を好み、様々な材料や用具を使って工夫しながら作ることを楽しんでいった。

わたしが
じをかくな

ポスターを作ろう！

わたしが
えをかくな

50円の
おつりです

おまつりごっこ【おめんやさん】

いらっしやい
いらっしやい！！
おめんはいかが
ですか？

環境構成・保育者の援助

- ・絵本「わんぱくだんのなつまつり」の読み聞かせをし、子ども達がいっでも読むことができるよう絵本をクラスの絵本棚に置いておく。
- ・絵本を見た後の子ども達のつぶやきに共感し、子どもが出したアイデアを称賛する。
- ・『おまつりごっこ』の内容についての話し合いを行い、子ども達から出た意見を文字にして掲示したり、地域のお祭りの様子の写真を掲示したりする。
- ・子ども達のアイデアに応じて必要な材料や用具を準備する。

〈その後の子ども達の姿〉

子どもから「おみこしを作りたい」と声があり、みんなが共感し、クラスが盛り上がった。おみこしの製作をするうちに、お祭りの踊りを考えるようになり、話し合いの結果、運動会で披露するまでに発展していった。

《育まれている姿》 ※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

【健康な心と体】 やりたいことに向かって、見通しをもって行動する。

【自立心】 自分で考えたり工夫したりしながら取り組む。

【協同性】 共通の目的に向かって、友達と話し合ったり、協力したりする。

【道徳性・規範意識の芽生え】 友達と活動する中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに共感したりする。

【社会生活との関わり】 地域の行事に興味を持ち、遊びに取り入れようとする。

【思考力の芽生え】 友達の様々な考え方に触れながら、共に新しい考えを生み出していく。

【数量・図形・文字等への関心・感覚】 活動の中で、文字に興味をもち、読んだり書いたりする。

【言葉による伝え合い】 絵本に親しみ、イメージを膨らませる。友だちや保育士とともに言葉で伝え合い、相手の話を注意して聞く。

【豊かな感性と表現】 様々な素材に触れながら表現活動を楽しむ。友だちとイメージを共有しながら表現することを楽しむ。

砂あそび

5歳児 6月～8月

〈これまでの子ども達の姿〉

砂や水の感触や、その変化を味わいながら、思い思いに砂遊びを楽しんでいる。その場での会話のやり取りはみられるが、それぞれの遊びに夢中になっている。



環境構成・保育者の援助

- ・保育者も一緒に遊ぶことで、イメージを共有し、子どもの気づきに共感する。
- ・じっくり遊びこめる環境を整える（時間、場所）
- ・子どもの試行錯誤する姿を見守り、必要な物を準備したり、失敗も肯定的に捉えて明日の意欲につなげたりする。
- ・自分達で役割を決めて協力して遊びを進めていく姿や、成功体験を重ねる姿を称賛する。
- ・用具は大切に扱い片付けも協力してできるように言葉をかける。
- ・明日の遊びにつながるような振り返りを行う。

〈その後の子ども達の姿〉

友達と一緒に、山を作ったり川をつなげたりするなど全身を使って楽しんでいる。共通のイメージをもつことでお互いの思いを伝え合ったり、作り方を工夫したり試行錯誤したりする姿が見られた。1つのものをみんなで作り上げる楽しさ、達成感を味わうことができた。

《育まれている姿》 ※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

【健康な心と体】 自分のやりたいことごとに向かって全身を使って活動する。

【自立心】 目的の実現に向けて、自分なりに考えたり工夫したりして作り上げる。

【協同性】 友達とイメージを共有し、試行錯誤したり、折り合いを付けたりしながら、力を合わせて活動する。

【道徳性・規範意識の芽生え】 道具の貸し借りをしながら友達と折り合いをつけながら遊びを進める。

【自然との関わり・生命尊重】 砂や水の感触を味わい、特性に気づく。

【思考力の芽生え】 目的の実現に向けて、試したり工夫したりしながら、発見を楽しむ。

【言葉による伝え合い】 自分の思いを友達に伝えたり話を聞いたりする。

【豊かな感性と表現】 イメージの実現に向けて、友達と一緒に作り上げることを楽しむ。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

①健康な心と体

（保育所の/幼保連携型認定こども園における/幼稚園）生活の中で充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

②自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

③協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

④道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことと悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

⑤社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また（保育所/幼保連携型認定こども園/幼稚園）内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

⑥思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

⑦自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にできる気持ちをもって関わるようになる。

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

⑨言葉による伝え合い

(保育士等/保育教諭/先生)や友達と心を通わせる中で、絵本や物語に親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

⑩豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。



小学校

資料

「遊び」を「学び」へつなぐ



資料5【小学校入学後 第1週目時間割】

～がっこうをすきになろう～

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	
	入学式				身体測定		給食・昼休み・そうじ	
1時間目	入学式 ・入学式に参加する。 ・歓迎の言葉を聞く。	国語 ・挨拶や返事の仕方 ・連絡帳の出し方 ・絵本の読み聞かせ	音楽 ・幼稚園や保育所で歌った歌やリズム体操 ・じゃんけん列車	国語 ・自分の名前を書く ・絵本の読み聞かせ	国語 ・鉛筆の持ち方 ・自分の名前を書く	生活 「校内探険をしよう」 ・いろいろな並び方 ・廊下、階段の歩き方について話し合う	国語 ・絵を見て気付いたことや想像したことを話す	
2時間目	初めての学級 ・学校、教師の名前、自分の座席などを覚える。	学活 ・靴箱、傘立て、トイレや手洗い場の使い方	国語 ・自己紹介 ・ゲーム	体育 ・着替えの仕方（脱いだ服の始末の仕方） ・鬼ごっこなど	身体測定	算数 ・なかまづくり	学活 「教室をきれいにしよう」 ・ぞうきんの使い方 ・机の運び方	
3時間目		生活 ・安全な下校の仕方 ・下校準備	書写 ・鉛筆の持ち方 ・座り方 ・運筆の練習	算数 ・なかまづくり	生活 「運動場で遊ぼう」 ・遊具の使い方や運動場の約束について話し合う	道徳 ・みんなで仲良く	算数 ・なかまづくり	
4時間目	<p>《4月当初の子どもの姿と配慮》</p> <p>・子どもたちは、緊張や不安でいっぱいです。 朝スタートや活動の前に、保育園や幼稚園で歌っていた歌や手遊び歌などで、気持ちをほぐしましょう。</p> <p>・友だちがそばにいて、安心する子どももいます。 絵本の読み聞かせや紙芝居など、たまには床に座って話を聞く時間をつくりましょう。</p> <p>・長い時間椅子に座ることは、まだ慣れていません。</p>						4時間目	生活 ・給食当番の仕方 ・給食時間の過ごし方
5時間目	<p>初めの頃は、短い活動（立ったり、座ったり）（話したり、聞いたり）などを組み合わせ、徐々に1時間（45分間）の学習に慣れるようにしましょう。</p> <p>・小学生らしい授業に憧れや意欲をもっている子どももいます。 意欲をなくさないように楽しくてわかりやすい授業を心掛けましょう。</p> <p>ルールやきまりは、教師が教え込むのではなく子どもの必要感に応じて、子ども同士で気づき話し合わせるようにしましょう。</p>						5時間目	図工 ・好きなものを描こう

資料6 【小学校時間割（例）】

午前中4時間の時間割



通常日課	月	火	水	木	金
8:00~ 8:30	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会 ぶくぶくタイム	健康観察・朝の会
1校時 8:30~ 9:15	①	⑦	⑫	⑱	⑳
2校時 9:25~ 10:10	②	⑧	⑬	⑲	㉔
3校時 10:25~11:10	③	⑨	⑭	⑳	㉕
4校時 11:20~12:05	④	⑩	⑮	㉑	㉖
給食 12:05~12:55					
昼休み(休憩) チャイム14:00 12:55~13:40					
掃除 13:40~13:55					
5校時 13:55~14:40	1・2年5校時まで ⑤	全学年5校時まで ⑪	1・2年5校時まで ⑯	全学年5校時まで ㉒	1年5校時まで ㉗
6校時 14:40~15:25	3・4・5・6年6校時 ⑥		4・5・6年6校時 ⑰	【委員会・代表】月1回 15:00~15:45 【クラブ】月1回 15:00~16:00	2・3・4・5・6年6校時 ㉘
	帰りの会	全学年5校時まで	帰りの会	集団下校月1回	帰りの会

午前中5時間の時間割



通常日課	月	火	水	木	金
8:00~ 8:15	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会 ぶくぶくタイム	健康観察・朝の会
1校時 8:15~ 9:00	①	⑦	⑫	⑱	㉓
2校時 9:10~ 9:55	②	⑧	⑬	⑲	㉔
3校時 10:05~10:50	③	⑨	⑭	⑳	㉕
4校時 11:00~11:45	④	⑩	⑮	㉑	㉖
5校時 11:55~12:40	1・2年5校時まで ⑤	全学年5校時まで ⑪	1・2年5校時まで ⑯	全学年5校時まで ㉒	1年5校時まで ㉗
給食 12:40~13:25					
昼休み(休憩) チャイム14:00 13:25~14:10					
掃除 14:10~14:25					
6校時 14:50~15:35	3・4・5・6年6校時 ⑥		4・5・6年6校時 ⑰	【委員会・代表】月1回 15:00~15:45 【クラブ】月1回 15:00~16:00	2・3・4・5・6年6校時 ㉘
	帰りの会	全学年5校時まで	帰りの会	集団下校月1回	帰りの会

小学校生活を知ろう



落ち着いて学べる環境を整えます

【傘立て】



【引き出し】



引き出しの中も、お泊まりの部屋と持ち帰りの部屋と分けて整理します。

【靴箱】



【ロッカー】



【歯ブラシ・コップ】



【掃除】



【給食】



【着替え】



【異学年交流】



【集団下校】





交流活動




事例



あたらしい1年生をしょうたいしよう

ねらい
 小学校：自分たちで1年間を振り返り、小学校でできるようになったことや小学校生活について5歳児に工夫して伝える。
 幼 保：1年生から小学校での生活について教えてもらうことで、就学への期待を膨らませる。
 職 員：幼保小の、子ども同士の交流を通じて相互理解を深める。

日時：平成30年2月9日（月）
 対象：三城小学校1年生87名・向陽幼稚園5歳児103名・三城保育所5歳児16名
 場所：三城小学校1年生クラス、体育館
 ●●● 小学校側の配慮 ▲●● 幼保側の配慮

時 間	子どもの活動	環境構成・留意点
10:20	<ul style="list-style-type: none"> ・園児は1年生の席に座る。 ・はじめの言葉（1年生） ・グループで自己紹介をする。 ・学校紹介 ・ペアの子どもに机の中を紹介する。 ・園児にランドセルを背負わせる。 ・ペアの子どもをトイレへ連れていく。 ・学校探検をする。 ・体育館でゲームをする。 （じゃんけん列車） ・教室へ移動する。 ・1年生が園児へプレゼントを渡す。 	<p>▲はじめての小学校なので、園児が不安にならないよう保育者が側につくようにする。</p> <p>小学生と園児の区別がつくよう園児は帽子をかぶって参加する。</p> <p>●園児がひとりにならないよう1年生とパートナーを組む。</p> <p>●活動を交互におこなったりするなど、満足感がもてるように時間を十分に確保する。</p> <p>●▲ゲームに全員が参加し、楽しめるように、ルールの確認をし、幼保小混合の列車ができるよう、組み合わせに配慮する。</p>
11:50	<ul style="list-style-type: none"> ・終わりの言葉（1年生） 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>机の中紹介</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>ランドセル紹介</p> </div> <div>  <p>じゃんけん列車</p> </div> </div>

《小学校 感想》
 「自分の学校を紹介する」というめあてのもと、準備から当日まで子どもたちがとても積極的に取り組んだ。園児との様々な活動を通して自分の成長を感じ、その喜びとともに2年生へ進級することに対し意欲を高めることができた。

《幼稚園・保育所 感想》
 園児が実際に小学生とふれ合ったり、学校見学をしたりしたことで、「小学生ってすごいな」という憧れの気持ちが生まれ、就学に向けて期待を持てるよい機会になった。また学校生活の様子を見たり一緒に遊んだり、優しくしてもらうことで、学校に対する安心感や期待感にもつながった。



関係資料



(1) 関係法令の幼保小連携関連事項の抜粋

幼稚園教育要領（平成 29 年 3 月告示）

第 1 章 総則

第 3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

第 6 幼稚園運営上の留意事項

- 3 地域や幼稚園の実態等により、幼稚園間に加え、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るものとする。特に、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続のため、幼稚園の幼児と小学校の児童との交流の機会を積極的に設けるようにするものとする。また、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むよう努めるものとする。

保育所保育指針（平成 29 年 3 月告示）

第 2 章 保育の内容

4 保育の実施に関して留意すべき事項

(2) 小学校との連携

- ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第 1 章の 4 の(2)に示す「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
- ウ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）

第1章 総則

第2節「教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画」等

1 「教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画」の作成等

(5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

① 小学校以降の生活や学習の基盤の育成

ア 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。

② 小学校教育との接続

イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

2 指導計画の作成と園児の理解に基づいた評価

(2) 指導計画の作成上の基本的事項

① 学校間の交流や障害のある園児との活動を共にする機会

サ 地域や幼保連携型認定こども園の実態等により、幼保連携型認定こども園間に加え、幼稚園、保育所等の保育施設、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るものとする。特に、小学校教育との円滑な接続のため、幼保連携型認定こども園の園児と小学校の児童との交流の機会を積極的に設けるようにするものとする。また、障害のある園児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むよう努めるものとする。

小学校学習指導要領（平成29年3月告示）

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階等間の接続

教育課程の編成に当たっては、次の事項に配慮しながら、学校段階等間の接続を図るものとする。

(1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活

を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

第5 学校運営上の留意事項

2 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携

イ 他の小学校や、幼稚園、認定こども園、保育所、中学校、高等学校、特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。

(2) その他参考資料

「スタートカリキュラム（国立教育研究所平成27年1月）」

www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/startcurriculum_mini.pdf

「保幼小連携接続カリキュラム（平成24年12月佐世保市）」

www.city.sasebo.lg.jp/.../hoyoushou_curriculum.html

「日野町保小連携推進計画（平成24年度～平成27年度日野町教育委員会（平成24年度修正版）」 www.town.hino.tottori.jp/secure/34229/hosyorenkei.pdf

「茨城県幼保小接続カリキュラム家庭教育の視点+（平成30年3月茨城県教育委員会）」

www.edu.pref.ibaraki.jp/board/welcome/soshiki/.../sasshi.pdf

(3) 幼保小連携接続カリキュラム実務者会構成員名簿

平成29年度

	所 属	氏 名
教育委員会	学校教育課指導主事	高柳智恵
小学校	大村市立三城小学校教諭	赤木美佐子
	大村市立旭が丘小学校教諭	山口奈穂子
認定こども園	大村市立放虎原こども園長	五反田宏子
保育所	大村市三城保育所長	岸久仁子
	大村市三城保育所保育士	後田亜沙美
幼稚園	大村市立西大村幼稚園教諭	宿輪伸子

平成30年度

	所 属	氏 名
教育委員会	学校教育課指導主事	横田和重
小学校	大村市立三城小学校教諭	赤木美佐子
	大村市立旭が丘小学校教諭	山口奈穂子
認定こども園	大村市立放虎原こども園長	岸久仁子
	大村市立放虎原こども園保育教諭	斉藤尚子
保育所	大村市三城保育所長	難波三千代
	大村市三城保育所主任保育士	樋口雅子
幼稚園	大村市立大村幼稚園長	池上澄香
	大村市立西大村幼稚園教諭	保利涼子

事務局

平成29年度

こども政策課 教育・保育グループ	課長補佐	西義博
	職員	樋口雅子
	職員	保利涼子

平成30年度

こども政策課 教育・保育グループ	課長補佐	田尻由美
	職員	五反田宏子